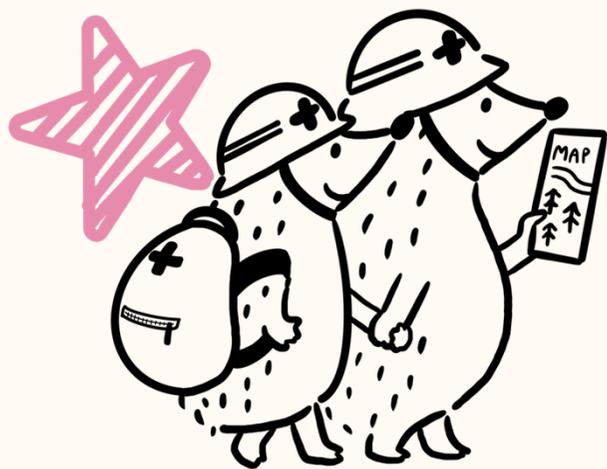




2025年度 防災教育チャレンジプラン 活動報告会

スペシャルキッズと保護者でつくる 彩の国防災プロジェクト



NPO法人ニモカカ

NPO法人ニモカカ



- ・難病を含む障害児・者ときょうだいおよび保護者がその尊厳を脅かされることなく、希望を抱いて人生を送ることができる社会の実現に寄与することを目的とする法人。
- ・名前には「大変…にもかかわらず、笑っていただける人になれたら」という願いが込められています。



なぜ「防災」？

つながることは備えること
一緒に活動して
私たちを知って欲しい



災害時、私たちは助けが必要になる。

でも、事前に地域とつながり、「知ってもらおう」ことは、
私たちだからこそできる防災です！

活動報告

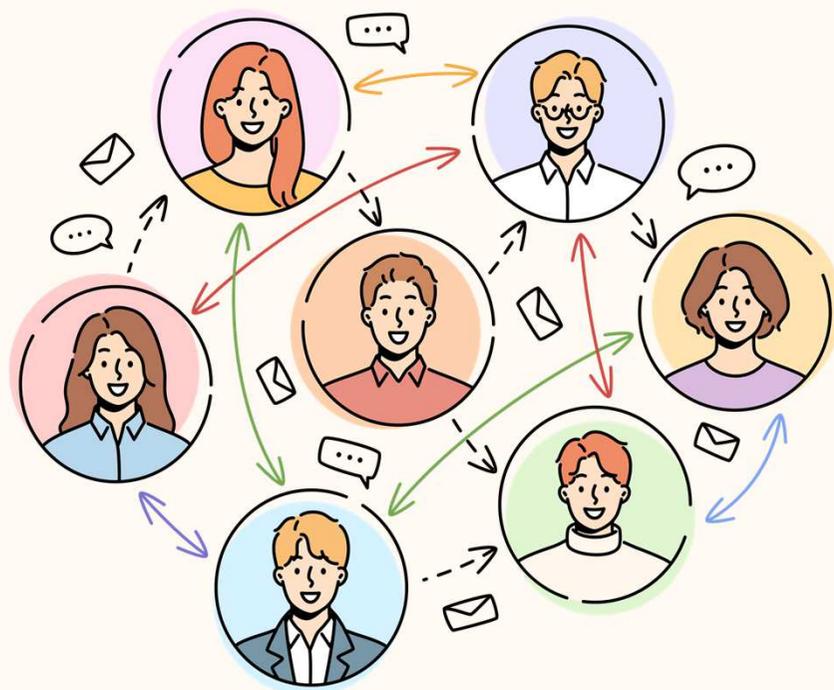


1. 彩の国防災ネットワーク
「TEAM☆のらぼうさい」 設立

2. 防災×あそび



1. 彩の国防災ネットワーク設立



平時から繋がり
災害時は助け合う



ネットワーク設立のねらい

- ①組織を超えて協力し、人手不足を解消・負担軽減する
- ②県内各地での防災イベントを継続・実施し、
防災啓発の偏りを解消する
実施エリアの地域連携に繋げる
- ③埼玉県内のスペシャルニーズのある人たちの災害時の
支援体制について協議し、災害時の具体的な支援体制の
整備を目指す

TEAM☆のらぼうさい設立



この埼玉の地で
根を張る
草の根運動



特定非営利活動法人 NPOにじいろ
特定非営利活動法人 mamacare
カリヨンの杜医療的ケア児・者の家族会Ohana
医療的ケア児保護者
NPO法人ニモカカ（事務局）

TEAM☆のらぼうさいの定期連絡会（月1）

- ①防災イベントパッケージ化の検討
 - ・各団体の強みを活かした人材・資材
 - ・「防災×あそび」のブラッシュアップ
- ②当事者の立場から災害時に必要な支援の検討
 - ・県医療的ケア児等支援センターとの連携
 - ・ガイドブック作成の協力（4月～）
 - ・「彩の国会議」に登録（7月12日）
- ③各団体との情報交換

TEAM☆のらぼうさいの活動実績



- 7月 「彩の国会議」キックオフミーティング参加
- 8月 防災ガイドブック 班ごとに内容検討
- 9月 九都県市合同防災訓練（埼玉県会場）
タオル・オクル・プロジェクト実施
- 11月 UniWave（福祉イベント）にブース出展
- 1月 第3回防災×あそびの振り返りと共有
防災ガイドブック完成
- 2月 第13回協働型災害訓練にて取り組み発表
活動報告をWEB掲載

NEW

つながりを広げる

～TEAM☆のらぼうさいとして社会へ～

埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「 彩の国会議」登録

- ・スペシャルニーズ当事者団体として、災害時に必要な支援について啓発していくことが重要と再認識。
- ・自分たちにできることを確認した。

埼玉県災害ボランティア団体 エントリー大作戦！

埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」2023年度登録受付開始

いざという時のためのメンバー大募集！！

**集まるう！
埼玉のチカラ**

■当日スケジュール(予定)

- 09:30 チェックイン
- 10:00 定例会スタート/彩の国会議とは
- 10:15 「彩の国会議」エントリータイム
- 10:45 団体登録シート作成ワーク
- 11:15 自己紹介(団体登録シート活用)
- 12:00 まとめ/次回予定
- 12:15 記念撮影/チェックアウト
- 12:30 アンケート回収、解散

彩の国会議とは

埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」は、埼玉県及び埼玉県社会福祉協議会等と連携し、首都圏災害をはじめとした災害危機に際し、埼玉県内の災害支援団体ボランティアの活動を調整するとともに、防災・減災のための技能の向上、団体間の協力体制の確立、研修等の活動に努めることを目的に、2018年12月8日に発足しました。

平時においては、団体間の災害支援に関する学び合いと情報共有による「顔の見える関係づくり」を行い、災害時には本ネットワークが県行政(災害対策本部)や県社会福祉協議会(災害ボランティア支援センター)と情報共有を行い、連携して活動しています。

ぜひこの機会に皆さんもご参加ください！！

日時
令和7年7月12日(土)
10:00~12:30

場所
埼玉県
危機管理防災センター
〒330-9301 埼玉県さいたま市浦和区仲町 3-5-8
※会場詳細は参加申し込みの案内メールにてご確認ください。
※参加費は無料です(有志登録費をご確認ください)。

対象
災害支援活動や防災活動に取り組んでいる埼玉県内のNPO、団体、企業・事業所等で、当イベントの開催趣旨に賛同する団体。

参加のお申し込みはこちらから

主催 埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」(saiokokuai.jp@gmail.com)
共催 埼玉県(県窓口/危機管理課) 電話048(830)8148



九都県市合同防災訓練参加

～TEAM☆のらぼうさいとして発信～

「防災×ケア」をテーマにした啓発活動

当事者と県医療的ケア児者等支援センターの共同



災害時の備え展示



当事者が参加



瞬間冷却剤作り

タオル・オクル・プロジェクト

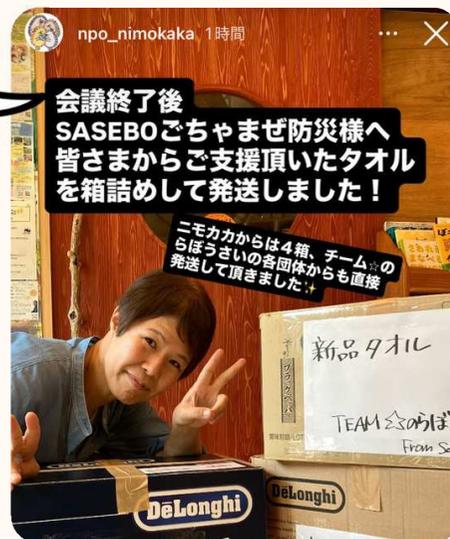
支援を受ける側から、届ける側へ

・ 佐世保の団体と協力

8月豪雨の被災地へタオル支援

・ 各団体会員 & 地域の方々からも協力

自分たちにできることを実行



遠くからでも、できる応援

NPO法人ニモカカ
福祉防災プロジェクト

タオル・オクル プロジェクト

令和7年8月豪雨で被災した地域へ
復興へのわずかなお手伝いとして
これから必要となるタオルを送ります
ご協力をお願いします！

お預かりしたタオルは
SASEBOごちゃませ防災さんへ
お届けします！

募集するタオルは2種類

- ①使っていない新品のタオル
- ②使っているが洗濯済みのタオル

8/28
締め切り

回収場所
ニモカカカフェ
(飯能市大河原934-2)
090-5530-2393 (事務局)

医療的ケア児者等のための防災ガイドブック

- ・ 埼玉県医療的ケア児等支援センターとの連携。
- ・ 当事者としての備え方を紹介
- ・ 当事者&支援者が「まずは始めてみよう」と思える内容に。



内容

1. 発作への備え
2. 食事（経管栄養を含む）
3. 電気の確保
4. 参考リンク集
5. 備えリスト



第13回協働型災害訓練にて取り組み報告

- 「ジェンダーと防災DX」というテーマ
当事者団体としての
コンセプトフリーを提案

埼玉大学ダイバーシティ
推進センター
立正大学
TEAM☆のらぼうさい



NEW

2026協働型災害訓練 第13回

つながることは備えること。(C)藤本眞作/天童野太

様々な災害支援の経験と知識を活かし、大規模災害・巨大災害に対応するための知り・学び・備えるための特別な2日間

開催日 2026年2月6日(金)、7日(土)

速報！開催決定！

協働型
災害訓練
13th
Anniversary
2026

会場 影の国いきいきセンターすぎとピア

内容1 対象：南域の災害支援団体
題名：タイムラインを作り防災時に備えよ！
内容：県内団体は発災時にどう対処すべきかを理解するタイムライン作成ワーク

内容2 対象：全国の防災関係者
題名：被災者支援コーディネーションの最新動向を学ぶ！
内容：JVOAD発行の多様性配慮ガイドラインを学び身につけるための特別ワーク

協働型災害訓練5つの特徴



協働型災害訓練へのご参画(スポンサー登録)のご案内

- 3つのスポンサーメリット
- 1 ミックスメディアへの露出効果
協働型災害訓練のオフィシャルWEBサイトのトップページにスポンサー企業様のロゴを掲出いたします。またこの度の開催資料にも同様に掲出させていただきます。プレスリリースやイベントプログラムの告知等のメディア露出効果も見込めます。
- 2 防災・減災業界関係者へのダイレクトリーチ
協働型災害訓練には、防災・減災業界関係者が2日間で1.0万人近く参加します。当日配布される資料としてスポンサー企業様の製品やサービスのPRフライヤーを同封することができますので、関係者へダイレクトリーチすることが可能です。
- 3 企業様の製品やサービスのダイレクトプレゼンテーション
協働型災害訓練の会場に、スポンサー企業様によるブース出展が可能ですので、自社の製品やサービスを参加した防災・減災業界関係者に対してダイレクトプレゼンテーションすることが可能です。

platinum	gold	silver	bronze
¥500,000-	¥300,000-	¥100,000-	¥50,000-

スポンサーのお申込み・お問い合わせは、事務局080-1243-6737またはcdt.icsjapan@gmail.comまで

成果と課題

Good

組織の枠を超えて協力
活動&発信により啓発&繋がりが増えた



課題

対面での話し合いは場所や時間の確保が課題
(オンライン会議・グループLINE活用で解決)
提案の仕方や進行方法に工夫して改善を図る

2.防災×あそび

内容の充実化



10月26日（日）1日規模で開催

プログラムで大切にしたいこと

- ・ 障害のある子もいない子もチームを組み、一緒に活動する
- ・ みんなで一緒に取り組むことでそれぞれのことや思いを知る
- ・ 防災について体験し、楽しく学ぶ

NPO 法人ニモカカ 福祉防災推進事業

第3回 防災×あそび

2025年10月26日(日)
10:00~15:00 受付9:30

場所：美杉台小学校 体育館
対象：小学生以上（未就学児きょうだいの参加も可）
※保護者の方の同伴をお願いします。

地域のみんなで 防災力を高めよう！ 持病や障害のある子もいない子も、大人だけの参加もOK

チームで ミッションに挑戦しよう！

定員：100名
参加費：一人200円（保険代および昼食代の一割として）
※10月23日(木)18:00まで 予約はこちら

ミッション01 車椅子の高さで何が見える？

ミッション02 モシモランチをつくろう

ミッション03 避難所にあつたらいいな「おまもりふくる」と「エアベッド」

ミッション04 段ボールジオラマ 今年は蕨能の山間部バージョン

ミッション05 災害時のピンチを回避せよ！スタンプラリー

YURETA (ユレタ) 煙トンネル などなど！

プログラムリーダー：齋藤朝子
(NPO法人ニモカカの福祉防災推進事業リーダー
第五期立川南のほりが丘特別支援学校教諭)
これまで勤務した身体校3校で防災を担当。2校目で東日本大震災を経験。その経験を基に、現在も高野を巻き込みながら防災・防災教育に取り組んでいます。

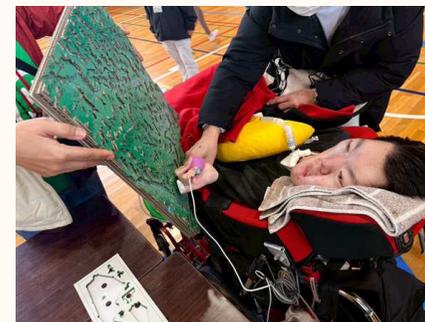
Web site: nimokaka.or.jp
090-5530-2393
contact@nimokaka.or.jp

※お願い
・記録のための写真や動画撮影を行います。
・イベントには様々な子が参加します。体調不良の際は参加をお控えください。

プログラム内容



- 車椅子体験（介助する&される）
- 段ボールジオラマ作り（市内山間部）
- モシモランチ（パスタとサラダ）
- スタンプラリー（8つのミッション）
- 発電機を使ってみよう
- 避難所について考えよう（ゾーニング・備蓄ベッド）
- 振り返り



モシモランチ

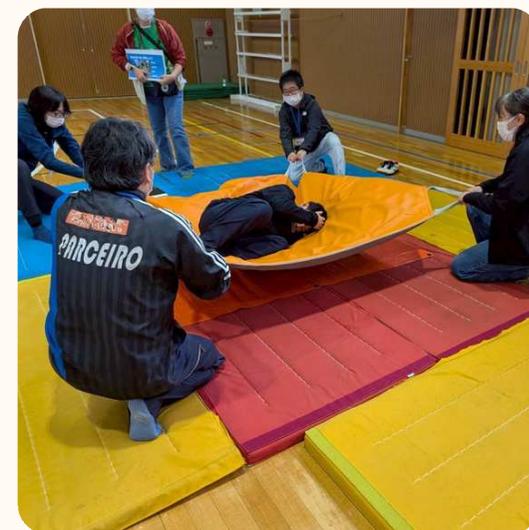
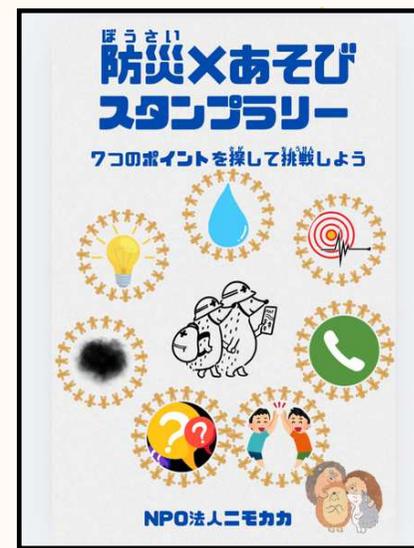


1. 車椅子操作体験、昼食の材料集め
身近な食材&ライフライン断絶想定で
水漬けパスタとお菓子からポテサラ作り。
2. 「協力すれば、美味しいご飯ができる！」という喜び



あそびの中に学びを ～防災スタンプラリー～

チームで一緒に
8つのミッションに挑戦



体験したからこそその気づき



- 1.地域の地形を段ボールジオラマを作りながら学ぶ
起こりうる災害とその対応
- 2.避難所での素早い設営・過ごしやすい場所作り
- 3.公衆電話と災害伝言ダイヤルの使い方



成果と課題

Good プログラム内容



- ・内容自体は交流が多くなり、よりお互いを理解し合えるものになった。
- ・参加した市議会議員が市に避難所設営の提案を



課題 参加者の確保

- ・防災×あそびの開催時期は地元でもイベントが多い
- ・家族と一緒に考えて欲しいために親子参加にしたことで、長時間参加する時間確保が難しい



防災×あそび 今後の予定



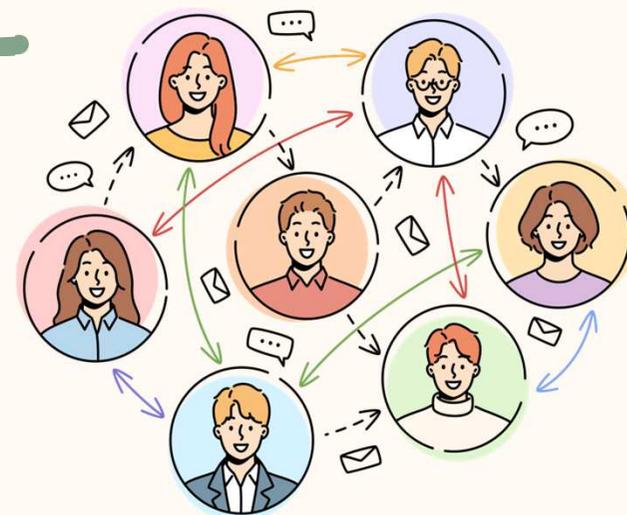
- 地域のかたが参加しやすい時間を再検討する。
- 企業の協力を得ながらその敷地や児童センターなど、集まりやすく災害時にも使用できるような開催場所を拡げていく。



活動からみえてきたこと

**顔見知りを増やすことが
最高の備えになる！**

発災時に直接行けなくても
事前の啓発なら「私たちにも
できる！」という確信



今後の活動

- のらぼうさいの定例打ち合わせは継続
- 「彩の国会議」や「防災ガイドブック」を活用し、当事者の立場から防災啓発活動
- 教材化
(当事者の気持ちに焦点を当てた防災教材)
- 県内各地でのプログラム実施と支援体制の整備。



CONTINUE



未来へのメッセージ

「笑って備える」輪を、埼玉いっばいに
そしてさらに拡げていきます！



私たちの活動に興味を持ってくれた方
気軽にお声がけください！
「繋がることは備えること！」

貴重な機会をありがとうございました！

